

秋の叙勲

さまざまな分野で活躍し、社会貢献した人を表彰する「秋の叙勲」が、11月3日、内閣府から発表され、日野町では緒形明治郎さん（根雨）が瑞宝小綬章、宮脇光男さん（根雨）が瑞宝双光章をそれぞれ受章されました。



【瑞宝小綬章】（検察官功労）

緒形 明治郎さん（根雨）

緒形さんは、昭和43年に検察事務官として入庁。昭和57年から平成19年9月まで検察官として、松江地方検察庁、広島高等検察庁、米子区検察庁などに勤務されました。長年にわたる検察官としての功績が認められ、今回の受章となりました。元米子区検察庁副検事。

【受章のことば】

検察官として退職するまでの25年間、県内外でさまざまな事件や公判を担当してきました。今回の受章は、これまで担当してきた事件の大小に関係なく、まじめに仕事をしてきたことが認められ、評価されたのではないかと思います。はじめは驚きましたが、うれしく思っています。

おめでとうございます

【瑞宝双光章】（消防功労）

宮脇 光男さん（根雨）

宮脇さんは、昭和45年1月に日野町消防団に入団。平成8年からは日野町消防団団長として、平成12年10月に発生した鳥取県西部地震では、被災直後の混乱の中、消防団の指揮に当たり、町民の生命・財産を守る活動を率先されました。こうした長年の功績が認められ、今回の受章となりました。元日野町消防団団長。



【受章のことば】

40年にわたる消防団での功績が認められたのではないかと思います。現在は、消防団も後継者や人手不足で以前に比べ元気がなくなっています。今回の受章で一つでも団員の励みになってくれればうれしいです。

消防団は防災には必ず必要な組織。これからも若い人の意識を高め、地域住民一丸となって防災活動に取り組んでいってほしいと思います。

町表彰に 2 名 第 46 回日野町表彰式 ～地域活性化、および文化の振興をたたえる～

町の発展に大きく貢献された皆さんを表彰する、第 46 回日野町表彰式が、11 月 11 日、役場庁舎で行われました。

今回は、地域活性化功労では、菅福元気邑（小谷久子代表）、文化功労では川上晉次郎さん（米子市）が、それぞれ表彰されました。おめでとうございます。



《地域活性化功労》

菅福元気邑 代表 小谷 久子さん（上菅）

菅福元気邑は、平成 13 年に菅福小学校が廃校になったことを機に、「潤いと生きがい、楽しく元気な村づくり」を目標に結成されました。

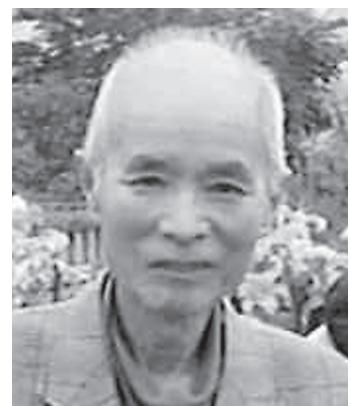
菅福小学校の一部を使用して整備した「菅福食文化伝承館」で農産物の加工・販売を行い、地元産の農産物と無添加の加工品にこだわった豆腐やみそなどは地元に人々に愛されてきました。

また、「ほとほと」など地域文化の伝承活動も行うなど、地域をあげて村づくりに取り組み、地域活性化に大いに寄与されました。

《文化振興功労》 川上 晋次郎さん（米子市）

平成 7 年に開館した日野町文化センター・図書館の初代館長として、町民に親しまれる施設とするため、手書きの「文化センターだより」の発行や町内芸術家の作品展示、町にゆかりのある人物である「生田長江」「木山義喬」などの展示や講演会を企画し、広く町内外に紹介するなど文化センター・図書館発展の礎を築かれました。

また、町美術家協会の設立にも尽力され、町内美術家の育成・発表・交流の場を作り、幅広く文化振興に寄与されました。



県知事表彰に 3 名

平成 27 年度

鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰

農林水産業を営み、その経営者および法人を表彰する、平成 27 年度鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰に、大下宏さん（舟場）、松本勝美さん（本郷）の 2 人、菅福元気邑（上菅）の 1 団体が選ばれ、10 月 26 日、鳥取県知事公邸で表彰式が行われました。



菅福元気邑（上菅）



松本 勝美さん（本郷）



大下 宏さん（舟場）

平成 13 年に廃校となった菅福小学校を「食文化伝承館」として活用し、地元産の農産物と無添加の食品にこだわった豆腐、みそなどの加工品販売を中心とした地域の元気づくりに取り組んでいます。

消費者に喜ばれる時代に合った和牛の改良と繁殖経営に精力的に取り組み、現在の鳥取県和牛ブランドの地位を築かれました。また、鳥取西部和牛改良組合の設立にも尽力されました。

獣医師として長年にわたり家畜の往診活動や受精卵移植技術などの普及に尽力とともに、繁殖農家として和牛改良にもあたり、郡内の牛の繁殖率の改善に多大な功績を残されました。